(議事の要旨)

開始 14時00分

[西田委員長]

ただいまから、平成25年度第6回教育委員会定例会を開会いたします。

[西田委員長]

本日の会議録署名は、岡本委員にお願いいたします。

本日の案件は、追加案件も含めまして、議案4件、報告事項4件です。

なお、議案第28号は公開しない会議とし、会議の最後に審議したいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認め、議案第28号は会議規則第12条により公開しない会議として、会議の最後に審議します。

それでは、議事に入ります。議案第26号・平成25年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(平成24年度事業)の決定について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第26号 平成25年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(平成24年度事業)の決定について

[松本庶務課長事務取扱]

議案第26号・平成25年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(平成24年度事業)の決定について、ご説明をさせていただきたいと思います。

提案理由につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定に基づき、平成25年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(平成24年度事業)を作成し、日野市議会に提出するものでございます。

平成25年度 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書(平成24年度事業)(案)をご覧くださいと思います。

表紙をおめくりいただくと目次になっております。ローマ数字のⅠ、はじめに、Ⅱ、点検・評価の基本方針、Ⅲ、教育委員会の活動状況の点検・評価について、Ⅳ、主要事業の執行状況の点検・評価について、の4章立ての構成となっております。

1ページをご覧くださいと思います。

Ⅰのはじめにでは、当報告書につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、日野市教育委員会が平成24年度事業を対象に行った点検・評価をまとめたものであることを述べております。

Ⅱ点検・評価の基本方針につきましては、1目的、2点検・評価の対象、3点検・評価の実施方法、を記載してございます。なお、点検・評価の実施方法につきましては、点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する森下先生及び白尾先生からご意見をいただいております。

2 ページをご覧くださいと思います。

Ⅲ教育委員会の活動状況の点検・評価について、でございます。本章におきましては、1 教育委員会の組織、2 活動状況の概要、3 点検・評価、4 学識経験者の意見、を掲載しております。

5 ページをお開きいただきたいと思います。

まず、委員会の構成につきましては、平成24年度の教育委員が列記されてございます。

(2) の定例会・臨時会、におきましては4月の第1回定例会から第12回定例会までの計12回の会議の概要について記載してございます。

続いて(3)の教育委員会施策研究会等、では年度内に12回行われました施策課題に対する研究や情報交換に関する対応を次の8ページまでにわたってまとめて掲載してございます。

続いて9ページをご覧くださいと思います。

(4)では市長と教育委員、(5)では日野市立小中学校PTA協議会と教育委員、(6)では校長会と教育委員との意見交換会の主な内容を表にまとめたうえでそれぞれ掲載してございます。

10ページをご覧ください。

(7)教育委員の学校訪問について、でございます。教育委員が小・中学校、幼稚園を訪問し、授業見学、教職員との協議等を実施した内容について表にまとめたものでございます。

11ページをご覧くださいと思います。

(8)教育委員の研究発表会への出席、につきましては教育委員が公式に出席された研究発表会の概要を表にまとめたものでございます。

12ページをご覧くださいと思います。

(9)教育委員の視察研修・連絡会等、では教育委員を対象とした研修会につきまして、表のとおりに行われたものでございます。

13ページをご覧くださいと思います。

(10)教育委員の関係行事への出席、では教育委員が出席され現場の状況や実態把握に努めた主な行事等を表にとりまとめたものでございます。

14ページをご覧くださいと思います。

(11)教育委員として就任している他の組織の委員等、につきまして記載のとおり表にまとめたものでございます。

15ページをご覧くださいと思います。

Ⅳ主要事業の執行状況の点検・評価について、でございます。1 教育委員会の主要事業及び評価対象につきましては、次の16ページにございます教育目標(体系図)に基づき11の主な推進施策及び生涯学習部門における生涯学習課の主要事業、それと今回の評価対象であります平成24年度主要事業である53の事業を表にまとめたものでございます。

16ページをご覧くださいと思います。

平成24年度の教育目標、基本方針、主な推進施策をとりまとめた体系図を表にしたものでございます。

17ページをご覧いただきたいと思います。

平成24年度主要事業について、17ページ、18ページの別表にまとめたものでございます。

19ページをご覧いただきたいと思います。

主要事業と活動状況の点検・評価につきまして、先ほどご紹介をいたしましたお二方の学識経験者のご意見を21ページまでにかけて掲載してございます。

22ページをご覧いただきたいと思います。

各評価対象事業の自己評価につきまして、47ページにかけてとりまとめたものを掲載してございます。

なお、昨年度からの変更点としまして、22ページの一番上のところになりますけれども、表中の「事業経費」とはという注釈をつけております。また、同ページの一番下にあるように「中1ギャップ」等の専門的な言葉につきましては注釈をつけております。

巻末につきましては、資料としまして、日野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価実施要綱を掲載してございます。

説明につきましては以上でございます。ご審議のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたらお願いします。

岡本委員。

[岡本委員]

3点お願ひしたいと思ひます。

まずIVの主要事業の執行状況の点検・評価について、の第9項目、信頼される学校経営と教職員の養成の部分です。第7項目中にある研究奨励事業による授業研究の推進とも関連のある部分ですが、38ページの評価中、今後の課題のところに、「お互いの研究がさらに深まっていくような取り組みを進める」とありますが、現場の声はどういう状況であるのか、また、教育委員会としてはどのように指導していくのか方向性をお聞きしたいと思います。

続きまして、41ページNo.9 - (1)、学校評価についてです。課題として、「具体的な手だてに程度や数値を盛り込むようにして」とありますが、委員会として来年どのようなポイントを重視して指導していくのか、その点もお願ひしたいと思ひます。

最後です。第11項目と関連することですが、教員研修です。学校訪問等で校長先生からのお話の中で若手教員の育成について時折伺うことがあります。若手の育成は各学校とも心配しているようです。先日、小・中・高連携に関する研究会がありましたが、その中で英語の授業をされていた先生が、ICTの強みとして、先輩の積み重ねてきたソフトが活用できたので、自分が納得できる授業ができましたということをおっしゃっていました。赴任して半年も経たない若手の先生のお話でしたので、もしかしたらこの先生の前任の学校ではICTの活用が進んでいなかったとか、あるいはふれてもいなかったというようなことがあるのかもしれない。しかし、そのような状況では日野市教育委員会の主要事業の一番初めにも挙がっている「確かな学力の向上」にはつながらないのではないかと私は心配しております。日野市として若手教員の育成に関して、どのような具体策を今後考え

ていくのかということについてお尋ねしたいと思います。

[西田委員長]

ただいま3点について質問がございました。それぞれについて、お答えをお願いします。

[大野教育部参事]

まず1点目にいただきました、各学校で深まっていくような取り組みについて、ご説明させていただきたいと思います。日野市教育委員会におきましては、研究推進校を毎年度指定いたしまして研究発表並びに紙上発表など行っているところでございます。各学校が研究成果として発表したものが他校においても有用、活用可能なものにおきましては周知をすることによって各学校でさらに充実、実践を行うというような取り組みを行っているところでございます。今後ますますその周知、広報活動など発表の充実などを図っていったらと考えております。

2点目の学校評価並びに数値化等につきましても、評価指標におきまして評価のあり方を、学校ごとの評価ではなく相対的な評価となるようわかりやすいものになっていけばということで、ただいま検討中でございます。本年度につきましても、もう既に評価指標を決定してしまっておりますので、来年度に向けてより良くするよう改良できたらと考えております。

3点目の若手育成でございますが、初任者育成研修をセンター研修としてほぼ毎月行っているところでございます。また、夏には宿泊研修を行っております。さらに、各学校におきましても、それぞれ何時間の研修を行うということが法令で定められております。それらを副校長が責任者となりまして、主幹教諭、主任教諭、そして主任教諭が若手教諭を育成するというような組織的な体系をとって取り組んでいるところでございます。

先ほど岡本委員からございました英語の事例でございますけれども、小・中、高校の英語ということで連携を深めており、日野市が実施しております幼保・小・中の連携と併せて、幼保・小・中・高まで連携が図れたということで、今後はさらに連携の充実を、それから、これまで取り組んでまいりました「ひのスタンダード」のように、特別支援教育を通して通常の学級においても、特別支援学級においても、授業がより充実するようにということで若手にもその視点を持った指導を行っているところでございます。

また、ICT活用教育の推進ということでプレゼンテーションを用いた授業実践あるいは研究活動、当然、能力の育成ということで、一般的な若手育成に加えて日野市らしさを充実させた若手育成研修を行っております。今後とも若手が頑張っている日野市にしていきたいと考えているところでございます。以上でございます。

[西田委員長]

ほかに質問ございませんでしょうか。

[西田委員長]

ないようですのでご意見を伺います。

[西田委員長]

ご意見よろしいでしょうか。それでは、ご質問、ご意見はこれにて終結します。

お諮りします。平成25年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（平成24年度事業）の決定について、を原案のとおり決することに異議ございません

か。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第26号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第27号・学校運営協議会を置く学校の指定について、事務局より提案理由の説明をお願いいたします。

○議案第27号 学校運営協議会を置く学校の指定について

[鈴木学校課長]

議案第27号・学校運営協議会を置く学校の指定について、でございます。

提案理由でございます。日野市立東光寺小学校の学校運営協議会を置く学校の指定が平成25年10月31日をもって指定期間満了となるため、日野市学校運営協議会規則(平成20年教育委員会規則第18号)第3条の規定に基づき、日野市立東光寺小学校を学校運営協議会を置く学校に再指定するものでございます。

指定期間でございますが、平成25年11月1日から平成29年10月31日まででございます。

説明は以上でございます。よろしくご審議のほどお願いいたします。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたらお願いします。

高木委員。

[高木委員]

2点お願いします。まず、日野市としての学校運営協議会の設置基準の考え方について、以前もお聞きしているかもしれませんが、もう一度ご説明をお願いしたいのと、設置基準に対する今後の日野市の方向性についてお伺いしたいと思います。

それから2点目は、日野市において学校運営協議会を設置している2校について、具体的なこれまでの成果についてお伺いしたいと思います。

[鈴木学校課長]

学校運営協議会、いわゆるコミュニティスクールでございますけれども、はじめに学校からの要望、意思があり、その後、規則に従い、学校運営協議会の趣旨が達成できると教育委員会が認めた場合は指定を行うという流れになっております。

現在、日野市におきましては東光寺小学校及び平山小学校が指定されており、この2校につきましては、学校運営協議会の役割として、校長が作成する学校運営の基本方針や学校運営に関する意見をまとめ具申するといったことが行われております。主に東光寺小学校におけるケースですけれども、学識経験者、PTA役員、保護者等の委員によりまして運営がなされており、また、児童の学習の支援、農作業、体験学習など、学校教育活動の運営支援をいただいているところでございます。今後も、学校側から要望があれば教育委員会として指定をしていきたいと思っております。

2点目、学校運営協議会設置の成果についてご説明します。設置をすることによりまして、地域全体で子どもを守り育てようとする意識が高まり、より多くの保護者、地域の方が学校に協力していただけるようになっております。一番大きな成果としては、保護者の方から学校に対して苦情等が寄せられる場面で、だんだんと苦情ではなく意見や提案という形に変化してきたという点があります。

[西田委員長]

ほかに質問がございましたらお願いします。

[西田委員長]

ご意見を伺います。

[西田委員長]

では、なければご質問、ご意見はこれにて終結します。

お諮りします。学校運営協議会を置く学校の指定について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第27号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

議案第29号・教育委員会職員人事について、事務局より提案理由の説明をお願いします。

○議案第29号 教育委員会職員人事について

[松本庶務課長事務取扱]

追加案件になります。議案第29号・教育委員会職員人事について、でございます。提案理由につきましては、教育委員会職員に対して人事発令を行うものでございます。対象者の職層名、職務名、氏名等につきましては、記載のとおりでございます。説明については以上です。ご審議のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

[西田委員長]

事務局からの説明が終了いたしました。ご質問がございましたらお願いします。

[西田委員長]

なければ、ご意見を伺います。

[西田委員長]

ないようですので、ご質問、ご意見はこれにて終結します。

お諮りします。教育委員会職員人事について、を原案のとおり決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。議案第29号は原案のとおり可決されました。

[西田委員長]

報告事項に入ります。報告事項第9号・行政情報の公開請求、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第9号 行政情報の公開請求

[松本庶務課長事務取扱]

報告事項第9号・行政情報の公開請求、についてでございます。

このことについて、次のとおり報告をいたします。

8ページをご覧いただきたいと思っております。

請求日、8月3日。決定日、8月19日。

請求件名、平成24年7月1日から平成25年6月30日までの期間に教育委員会が締結した損害保険契約で、保険料が20万円以上のものの保険証券の写し。ただし、公用車の自動車保険・自賠責保険や、「全国市長会」「全国市有物件災害共済会」などの公的機関等との共済契約・団体契約は除く。

決定内容につきましては、文書不存在ということで非公開としております。

以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたらお願いします。

[西田委員長]

なければ、報告事項第9号を終了します。

[西田委員長]

報告事項第10号・平成26年度入学「選べる学校制度」希望調査集計結果（小学校）、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第10号 平成26年度入学「選べる学校制度」希望調査集計結果（小学校）

[鈴木学校課長]

報告事項第10号・平成26年度入学「選べる学校制度」希望調査集計結果（小学校）、でございます。

このことについて、次のとおり報告するものでございます。

平成26年度入学希望調査集計状況についてでございます。平成25年9月9日現在でございます。

一小を例にとりますと、学区内人口94名に対し希望増、他の学区から一小を希望した者が11名、希望減、他の学区を希望した者が35名、入学予定者は差引70名。定員102名に対して32名余裕があるというような状況でございます。

以下、七生緑小学校まででございます。

12番、南平小学校でございますが、入学予定者が定員と同数となりましたが、希望者全員が入学できますので抽選は行いません。また、他の学校につきましても定員以内となっております。

説明は以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたらお願いします。
濱屋委員。

[濱屋委員]

希望増のほうが希望減より多くなっている学校が幾つかあるかと思いますが、例えば四小ですとか五小、潤徳小、南平小について、希望増が多くなっている理由について、わかることがあったらご説明いただければと思います。

[鈴木学校課長]

希望増が上回っている学校でございますけれども、本来の学区内の小学校に比べて通いやすいというような理由や、あるいは兄弟が通っていたためといった理由があります。

[西田委員長]

ほかにご質問、ご意見はございますか。

[西田委員長]

ないようですので、報告事項第10号を終了します。

[西田委員長]

報告事項第11号・平成25年度日野市立図書館の運営の状況に関する評価書（平成24年度事業）、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第11号 平成25年度日野市立図書館の運営の状況に関する評価書 （平成24年度事業）

[宇津木図書館長事務取扱]

11ページをお開き願います。

報告事項第11号・平成25年度日野市立図書館の運営の状況に関する評価書（平成24年度事業）、このことについて、次のとおり報告いたします。

少し飛びまして1ページをお開き願います。

はじめに、でございます。平成20年6月に図書館法が改正されまして、図書館の運営の状況に関する評価を行うことになり、その結果に基づきまして図書館の運営の改善を図る措置をとるということで、平成21年3月31日に日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱を制定いたしまして、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営を推進するため、平成21年度から運営状況に関する評価を開始いたしました。

3番は図書館の現状でございます。表に記載のとおりでございます。

（2）組織・職員、（3）主な業務は記載のとおりでございます。

4、評価の方法でございます。図書館協議会委員9名おりますが、その図書館協議会委員の意見をいただき自己評価を行ったものでございます。図書館協議会委員には図書館の事業につきまして、6月13日と18日、2回にわたって事業内容を担当者より説明を行いました。今後もこういった説明会を進めていきたいと思っております。

5の評価の対象事業でございます。昨年、第2次日野市立図書館基本計画を策定いたしました。その中の重点的な取り組みということで下記の10事業について評価を行いました。

6の評価の結果でございます。自己評価では概ね目標に対し成果をあげることができたとしておりますが、まだまだPR、周知が足りないと思っておりますので、今後さらに図書館の事業について周知を続けていきたいと思っております。

また、図書館協議会の総括的な意見として次のようにいただいております。

平成24年度の事業については概ね高く評価できる、25年度も引き続き創意工夫を重ねて市民の期待に応えるよう努力を希望するという事です。また、要望として、図書館活動のPRのための諸活動を積極的に推進してほしい。限られた資源を有効活用するためにも、各事業運営に優先順位をつけ、めりはりをつけて行ってほしい。公民館や図書館は社会教育施設として生涯学習行政の中核的施設であるため、この施設が円滑に運営できるよう予算的、人的措置が厚くとられるべきであり、そのためにも厳しい財政状況の中ではあるが可能な限り、予算的措置がとられることを望まれるということをお願いしております。

また、平成24年度は第2次日野市立図書館基本計画を策定いたしました。基本理念といたしまして「暮らしの中に図書館を」を継承し、多くの市民の方に利用していただけるよう「よりどころ」ということをテーマにしております。楽しみや知識を得るための「抛りどころ」、教育と文化の「依りどころ」、また気軽に立ち寄ることのできる憩いの場としての「寄りどころ」、こういったものを目指しまして、より多くの方に利用していただけるよう生活に密着した中で取り組んでいきたいと思っております。

各事業の評価につきましては4ページから16ページまでのシートに沿いまして事業の目標、成果、自己評価、また、図書館協議会委員からの意見をいただいております。

17ページは図書館の運営状況の評価実施要綱になっております。

18ページは図書館協議会委員の名簿となっております。

以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見、ございましたらお願いします。

高木委員。

[高木委員]

資料の6ページ、学校支援の関係で、事業の成果の項目が3つあるのですが、23年度から24年度にかけて前年度比10%強ダウンしています。また、22年度から23年度にかけてもダウンしているという状況ですので、背景、理由について教えていただければと思います。

[宇津木図書館長事務取扱]

相談件数、搬送回数が減っている理由についてでございます。現在、調べもの学習に使用する資料につきましては、週1回搬送をしておりますが、時期によっては複数の学校から同時期に同じ資料の要望がございます。要望が複数重なった場合は、先に要望のあった学校にのみお届けするような形になりますので、結果として搬送実績が減ってしまうこと

があります。また、ホームページ、司書教諭連絡会等で、新任、専任の先生方に事業の周知はしておりますが、まだまだ不足している部分もあるかと思っております。これからもPRを続けていきたいと思っております。

今後についてですが、調べものの資料だけでなく、二学期から読み物もお届けしたいということで、これは全校一斉に各学年ごとに箱に詰めて届けていきたいと思っております。

[西田委員長]

ほかにご質問はございますか。

高木委員。

[高木委員]

評価実施要綱によるとこの評価書は市民に公表するということなのですが、そのスケジュールについてご説明願います。また公表することによりましていろいろなご意見、ご要望等があるかと思えますけれども、そちらへの対応の考え方についてお伺いしておきたいと思えます。

[宇津木図書館長事務取扱]

本日の定例会が終わりましたら、各図書館において閲覧をできるようにしたり、ホームページ上で公表をしていきたいと思っております。

また、それに対しましてご意見等をいただきました場合は、丁寧に対応するとともに、より良い図書館運営推進につなげるような形で進めていきたいと思っております。

[西田委員長]

ほかにご質問、ご意見はございませんか。濱屋委員。

[濱屋委員]

基本方針の最初の項目、この1つ目の乳幼児・小中学生サービスに関してですが、幼少期あるいは小中高生の読書離れが問題になっていきますので、是非子どもたちに本の楽しさをわかってもらえる活動をこれからも続けていただきたいと思えますし、こちらの意見にもあるように、小中学校の図書館の利用状況、この現状を見たうえでまた次の施策を検討していただければというふうに思えます。

[宇津木図書館長事務取扱]

乳幼児期から親子のスキンシップをとりながら本に親しめるような環境づくりが大事だと思っております。様々な場面でそのような環境がつかれるよう、公共施設としての利点を活かしまして、保育園と連携し、保育園の先生が保育の中で行っている手づくりのおもちゃを作り、それについての図書館の本の紹介をするという講座を昨年行いました。今年度も幼稚園の先生と一緒に幼稚園の中で行っている手づくりおもちゃを作って、その後、図書館が引き継いで本の紹介を行うということ実施する予定です。ご意見いただきましたとおり、子どもが本に親しめる環境づくりをさらに続けていきたいと思っております。

[西田委員長]

ほかにご意見はございませんか。岡本委員。

[岡本委員]

今回、評価委員の中からもご意見があったということですが、やはり予算面が今後は非常に厳しくなるのではないかということがあります。このような状況の中で必要な予算措

置を行うためには、相当具体的な案を練っておかなければ厳しいのではないかと思うのですが、その点はいかがでしょう。

[宇津木図書館長事務取扱]

まず大事なのは、子どものときから本に親しむ環境ということで、環境の整備につきましては公共直営でやっておりますので、保育園や幼稚園、小学校、子ども関連施設と連携する中で、お互いの良いところを生かしながら、なるべく工夫をして今後も子どもの環境整備に努めていきたいと思っております。

本の購入も必要な本につきましては、読み終わった本については図書館のほうに是非お願いしますということで、広く寄贈を呼びかけるなどPRをしておりますが、さらにわかりやすく、多くの方にそれが伝わるような形でPRして、図書館の本の蔵書数を増やしていきたいと思っております。いろいろなところでもっともっと工夫が必要だと思いますので、皆様の声をいただきながら進めていきたいと思っております。

[西田委員長]

ほかにご質問、ご意見はございませんでしょうか。

[西田委員長]

それでは、報告事項第11号を終了します。

[西田委員長]

報告事項第12号・平成25年度日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書（平成24年度事業）、について事務局より報告をお願いします。

○報告事項第12号 平成25年度日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書
（平成24年度事業）

[阿井中央公民館長]

13ページをお開きください。

報告事項第12号・平成25年度日野市中央公民館の運営の状況に関する評価書（平成24年度事業）、について報告するものでございます。

平成24年度の公民館事業の評価につきまして、日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱に基づき、日野市公民館運営審議会委員の皆様にご評価していただいております。

評価書の裏面をご覧ください。目次になっております。

はじめに、目的、対象、実施方法、総評、公民館の自己評価、と1から6までの項目になっています。

はじめに、の部分からご説明申し上げます。平成21年3月に公民館の運営状況の評価実施要綱を制定し、21年度から評価をさせていただいております。

目的は、記載のとおりでございます。

評価対象につきましては、基本施策ということになっております。

2ページをご覧ください。2 平成24年度中央公民館基本方針が載っております。

3ページ、公民館運営審議会委員の総評でございます。日野市にある公民館として民間ではなく公共として実施することの意味と意義を考えなければいけないということがご意

見としてございました。事業については、一定の成果があったものと評価をいただいております。また、公民館事業の企画・運営により広い市民参画を推進すること、開かれた公民館を目指してほしいというご意見もいただきました。

公民館の自己評価でございます。私どもの運営する公民館は1館1分室しかございません。他の公共施設を活用して地域偏在の解消に向けて一層の努力をしていきたい。市民と市民サークルが交流して学び合いが深められるような仕組みづくりをつくっていきたい。「人と人」、「人と地域」がつながるような仕組みづくり、学びの輪を広げていきたいという評価をしております。

4ページから13ページにかけては、基本施策ごとに評価シートを記載しております。

15ページから33ページまでは資料となっております。事業ごとの参加人数や担当者評価、課題等を記載したものでございます。

34ページをご覧いただきたいと思います。

日野市中央公民館の運営状況の評価実施要綱が記載しております。

35ページをご覧いただきたいと思います。

第24期公民館運営審議会委員の名簿が記載しております。

戻っていただいて3ページになります。

公民館の自己評価でございます。先ほど申しましたように、人と人が結びつく輪をつくっていくためにはどうしたらいいかこれから考えていきたいと思います。

以上でございます。

[西田委員長]

事務局からの報告が終了いたしました。ご質問、ご意見がございましたらお願いします。
高木委員。

[高木委員]

3ページに公民館運営審議会の総評が3点ございまして、その下に公民館の自己評価がありますが、自己評価のほうは、何々をしていきたいというトーンで書かれており、どちらかというと今後に向けた課題認識等が列記されているように受け止められ、審議会の総評と公民館の自己評価の間で、書面で見ると認識にギャップがあるのかなという感じがややあります。審議会からは非常に多くの事業に対してご意見をいただいておりますので、是非、審議会の声を汲みとりながら、今後の事業展開につなげていくことができれば良いのかなという思いを強くしておりますので、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。

[阿井中央公民館長]

私どもの自己評価のほう先につくりまして、それから総評していただいている関係で自己評価と総評の記載順が逆になっているような形でございます。審議会からはいろいろなご指摘等をいただいておりますので、これからの事業の中に生かしていきたいと思ひます。

[西田委員長]

ほかにございませんか。

濱屋委員。

[濱屋委員]

ときどき公民館のホームページを拝見すると、トップに「だれもが いつでも 生き生きと まなびあう」とあり、いろいろな工夫をされているなというのがよくわかります。ただ、事業ごとに見ると、なかなか人が集まらないものもありますし、逆に、平家物語の講読のように定員を超えるものもあるということで、やはり市民の人がどんなことを知りたいのか、ニーズを捉えてテーマを選択していくことが必要なのかなと感じました。

それからもう1つ、学び合うということについて、終わった後に参加者が話し合う場があればよかったというような指摘があったと思いますが、同じテーマについて関心を持った人が集まったときに、そこからまたつながりができるような工夫もされていくといいのではないのでしょうか。

[阿井中央公民館長]

できるだけそのような形で参加者が話し合うサロンのような部分や、サークルの立ち上げができるような形で進めていきたいと思います。

[西田委員長]

ほかにご意見、ご質問はございますか。

[西田委員長]

ないようですので、報告事項第12号を終了します。

[西田委員長]

これより議案第28号の審議に入りますが、本件につきましては公開しない会議の中で行いますので、関係職員以外の事務局説明員は退席しても差し支えないと思います。ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

[西田委員長]

異議なしと認めます。関係職員以外の事務局説明員は退席してください。

なお、本件の終了をもって平成25年度第6回教育委員会定例会を閉会といたします。

(関係者以外退室)

「教育委員会職員の分限休職の専決処分について」

は公開しない会議の中で審議。

[西田委員長]

以上をもちまして本日の案件はすべて終了しました。これにて平成25年度第6回教育委員会定例会を閉会いたします。

閉会 14時56分